

はじめに

まず、この本を手にしていただいたことに深く感謝を申し上げます。

近年、日本では「観光立国推進基本法」が施行され、ビザ要件の緩和、免税措置をはじめとしたビジット・ジャパン事業の展開、アイドルやゲーム、アニメを文化的商品として世界にアピールすることなどにより、訪日外国人旅行者が急増しています。

彼らをもたらす経済効果は大きく、とくに中国人観光客の「爆買い」などは、観光業界はもとより百貨店をはじめ多くの業界から注目され、もはや社会現象となつて連日のようにメディアにとり上げられています。しかし、本当にそれらが「日本の文化」として誇れるものなのでしょうか？

外国人旅行者はともかく、日本で生まれ育つた我々が自国の成り立ちや歴史をないがしろにし、このようなコンテンツに熱狂している姿は、どう見てもおかしいと感じます。しかし、もはや日本が培ってきた歴史文化というものに積極的に目を向けようとする人はほんの少数になつてきてしまい、昭和生ま

これは歴史や文化などよくわかっていないのが現状なのです。

かくいう私も、奈良という古都に住んでいながら、その魅力にまったく気づかず、京都で観光ハイヤーのドライバーに就くまでは、神社やお寺などにはまったく興味がなかった……というか、むしろ日本史は大嫌いでした。

しかし、お客様を案内しなければならぬ仕事上、歴史や寺社の勉強は避けては通れなかったもので、仕事の合間の時間に本を読みあさり、休日になると現地に行つてバスガイドさんやボランティアガイドさんの話を聞きまくつたおかげで、基本的な知識だけは一人前になつてきたのです。と同時に、いい歳をした大人の自分が、いかに日本のことに対して無知であつたのかと猛省しました。

まさに一からの出発でしたが、先人たちから受け継いできたものを、なんとか後世に残したいと一念発起！

私の仕事は「何年に誰それが建てた重要文化財です……」などといった、ガイドブックに載っているような上つ面の情報ではなく、京都や奈良にリアルに存在する文化財や和歌などを通して、当時の人た

ちがどのようないや苦勞を感じていたのかを身近に感じてもらい、本当のことを理解して「素晴らし
い日本」を知っていただくことです。

これからの国際社会の中で、日本人としての誇りを持って活躍してもらえればと思います。